

堺IPC PRESS

堺でがんばる企業応援マガジン

CASE 01 :

北野緑生園株式会社

堺で育てたオリーブを一粒一粒手摘みする同社植物管理課の小林さん

Special Feature

「つながる」

地域とつながる、地域をつなげる。本業からの横展開や新事業の立ち上げで地域に根差したさまざまな取組を行っている2社を紹介します。

この企業にこの人あり!

育児や介護が両立できる環境を整備
女性の力を活かすものづくり企業へ

株式会社古賀機械製作所
藤井 智恵美さん

SAKAIもの新発見

独自の発想力と開発力で生み出す
パーソナルケア用品

ビューティードア株式会社

CASE 02 :

株式会社サンエイプラテック

なるなる保育園の園児と音遊びをする保育士の亀山はるかさん(写真左)と下田しずかさん



YURINA OLIVE
ホームページ

今年度、「2026 Los Angeles International Extra Virgin Olive Oil Competition」※に堺産オリーブオイルで初挑戦の予定。
※世界中のエキストラバージンオリーブオイルを対象とした国際品評会の一つ。



大阪府立農芸高校で飼育している豚の飼料用にオリーブの搾りかすを使用。



同社は堺市立新樟尾台小学校と連携し、校内にある「オリーブの森」で出前授業を開催。



堺産オリーブで 地域をつなぎ 街の活性化にも貢献

ゼネコンやハウスメーカーなどを得意先として、造園工事や植木の卸を行っている北野緑生園株式会社。10年前からはオリーブオイルの製造・販売を手掛けており、そのオリーブを活用した教育プログラムで、地域の高校や小学校ともつながっています。

北野緑生園株式会社
代表取締役 北野 裕之

創業80年の造園会社
がオリーブオイルの製造・販売へ

1945年創業の北野緑生園株式会社。ハウスメーカー各社や建築家を通して、個人宅の庭づくりを手掛けることも多く、北野裕之社長は「わが家が一番癒やされる空間であることを体感いただけるような庭づくり、演出を行うのが我々の仕事です」と語っています。

樹木を植えっぱなしではなく、剪定など、その後の管理にも責任を持てる庭づくりをめざし、社員には樹木医の資格を取得させており、造園設計者や建築家からも高い評価を得ています。

一方、10年前にスタートさせたのは、堺産オリーブオイルの製造・販売です。

「もともとオリーブは、庭木として和風の庭にも洋風の庭にも合うということで、スペインからオリーブの古木を仕入れていました。その買い付けに訪れたスペインで、オリーブオイルと塩とビネガーだけの素朴な味付けの食事があまりにおいしくて感動したんです。20〜30年前から間引きされるオリーブを引き取っていた小豆島で、オリーブオイルを絞ったり塩漬けしたりするのを見る機会があり、当社でもできないかと思っていましたが、スペインでの体験をきっかけに、オリーブの木だけでなくオリーブオイルの製造・販売までを行う「YURINA OLIVE」(ユリナオリーブ)を立ち上げたんです。

そのオリーブオイルは「堺産プレミアム100%エキストラオリーブオイル」として、昨年には「OSAKA PRIDE P

RODUCTS 2025」にて、大阪府の「大阪代表商品の50品に選ばれています。

小学校、高校、地元自治会が連携した教育プログラムに参画

さらに昨年、同社の堺産オリーブをSDGsの教育プログラムに活用しようという取り組みが、堺市立新樟尾台小学校で、北野緑生園や地元自治会、大阪府立農芸高校と連携して行われました。

「農芸高校で飼育している豚の飼料に、うちのオリーブの搾りかすが活用されており、地域で循環するその取り組みに関心を持った新樟尾台小学校からの依頼で始まったものです。子どもたちにオリーブの挿し木から育成、実の収穫、そして加工、販売と一次産業から六次産業までの過程を学んでもらいました。農芸高校の生徒たちも自分たちの取り組みを小学校で出前授業したり、地元自治会の皆さんが日々の管理をサポートしたりと、地域が一体となつての活動はすばらしいものでした。こうした地域とつながるプロジェクトに企業として関わることの意義を北野社長は「今の子どもたちはすぐにネットで楽に情報や知識を得ようとしています。オリーブは毎年同じ世話をしていますが、たくさん実をつけた翌年は少なくなりますし、その年の気象によっても異なります。それを自分で体験して考えて、学ぶことが非常に大切なですね。私たち地域に根ざした企業は、そういうリアルな学びの場や経験を提供できるのではないかと考えています。」

います。実際、今回のプロジェクトでも、私たちがいつまでも世話をしなくても、自ら肥料のことを調べるなどして、どんどん前へ進んでいく姿に驚きました」と語っています。

オリーブをトータルに活用できるブランドの確立を

「小豆島の小豆オリーブ研究所の方が当社の取り組みを視察された時に『羨ましい』と言われたのは、小豆島ではオリーブが観光資源となつても、島内の人口は減る一方だから地域振興につながらないが、堺産オリーブオイルには可能性があるということです。当社は周囲の100坪、150坪という小規模の耕作放棄地を引き受けてオリーブの栽培量を増やしており、堺産オリーブが地域の活性化に貢献できればと願っています。

また当社では、堺酪農団地で生産される牛ふん堆肥をオリーブ畑で使用し、オリーブオイルの搾りかすは農芸高校で養豚に活用してもらっています。まさに堺市内で資源が循環できていることも優れた取り組みだと思っています」と北野社長。

大阪・関西万博では、同社が製作した直径180cmの巨大リースが、オリーブ起源の地・ヨルダンのパビリオンに飾られ、関連イベントも開催されました。今後は「YURINA OLIVE」を、オリーブを活用した庭のデザインや教育、イベントまでも総合的にプロデュースできるブランドに育てていきたいと考えています。

経営のキモ

耕作放棄地を使ってオリーブの栽培量を増やすだけでなく、堺市内にある高校や小学校と連携して地域の子どもたちの教育にも携わり、将来にわたる地域貢献につながる事業展開と自社のブランディングを実現しています。

北野緑生園株式会社

本社／堺市美原区菅生1328 ☎072-361-0278

- 設立／1945年設立
- 資本金／1,000万円
- 従業員数／13名
- 事業内容／卸売造園工事業、オリーブ製品の製造・販売



北野緑生園株式会社
ホームページ



同社さかした
掲載ページ



同社では、外構の植栽に使用する樹木や苗の栽培・育成も行っている。



なるなる保育園・幼稚園
ホームページ



なるなる保育園・幼稚園では、0歳児から5歳児までの子どもを受け入れている。



食育も大切にしている同園では、子どもたちの給食も園内で調理をしている。

託せる未来」のことです。有害物質を吸着したマイクロプラスチックが魚介類などを通じて人体に取り込まれる可能性が懸念されるなど、海洋プラスチックゴミが社会問題になっている一方、安価で使いやすいプラスチックによって、この何十年の文明が大きく発展してきた

「地元でチェーン展開されているコーヒー店で毎日大量に廃棄されるコーヒーかすと、堺の豆腐メーカーから出るおからを活用した堆肥づくりを大阪公立大学の先生たちと研究開発中です。この堆肥で小松菜などを生産すれば、それがまた堺産としてのブランディングにつながるのではないかと考えています」と語る岡田社長。丁寧なコミュニケーションで信頼関係を構築しながら、さまざまな企業や人をつないだ事業を展開していきたいと考えています。

経営のキモ

一見ばらばらに見える3つの事業を「子どもたちに託せる未来」のキーワードのもと、工業・農業・教育と分野横断的に取り組むことで、連携先を紹介されるなどネットワークを広げ、新たな価値を生み出しています。

業員の記憶だけが頼りでした。そこで1製品ごとのマニュアルを整備したほか、何かあった時にどう対処したかのノウハウも一元化するなど品質管理の仕組みづくりを行いました。今ではほぼ残業はありませんし、私が常時いなくても現場が回るようになりました」と岡田社長は語っています。経営も安定し、時間と資金に余裕のできたところで、岡田社長がスタートさせたのが保育園事業です。

「資金の投資先を考えた時に、私が最もよく知る世界はやはり保育だろうと思ったのと、ちょうどその頃に市の認可事業として小規模保育事業が始まったことがきっかけでした」。

**子どもたちに託せる未来に向け
環境問題を考える絵本を出版**

然に触れることだと岡田社長は言います。「生きる基礎を教えたい」と思っています。体を動かすのは指先まで感覚が通うことで、これから何らかの技術を身に付ける上でも役立つと思いますし、食べることはまさに命を学ぶことにつながります。食でいただく命は動物だけではないですから、子どもたちには大根やプチトマトの栽培を体験してもらっています。また、園内の給食で使用するパンや米は、地元とのつながりを大切に感じ、個人商店から購入しています。イモ掘り体験に協力いただいているのも堺市内の農家さんで、このたび園バスを購入したので、これからは植えるところから収穫までの全てを体験してもらおう予定です。さらに、奈良の古民家を取得したので、蛭を見たり川遊びしたりするなど自然に触れる宿泊保育も考えています」。

こうして子どもたちと関わるなかで、岡田社長が自ずと考えるのは「子どもに

ことも事実と岡田社長。次代を担う子どもたちにも、人がプラスチックとどう関わっていくべきかをわかりやすく伝えたいと、自ら文章と絵を手掛けた絵本『くるくるなる』を出版しました。

**プラスチック製造や保育園のほか
地元企業をつないだ新事業も**

一方、サンエイプラテックとしても環境問題は無視できない課題であり、大阪府のバイオプラスチック推進事業の支援を受けて、使用後は自然に還る生分解性材料・ポリ乳酸を使用したバイオプラスチック製品の開発を進めています。

さらに、岡田社長の思いは広がり、「子どもに託せる未来」を中心に、プラスチック製造業と保育園事業、そして新たに立ち上げたNPO法人による3つ目の事業を連携させる構想を持っています。3つ目の事業とは具体的に、地元企業から出る廃棄物を活用した堆肥づくりや奈良の古民家の活用などです。

「地元でチェーン展開されているコーヒー

株式会社サンエイプラテック

本社／堺市北区北花田町3-37-9 ☎072-230-4187

- 設立／2013年設立
- 資本金／500万円
- 従業員数／20名
- 事業内容／プラスチック射出成形、プラスチック成形品の2次加工、電線加工



株式会社サンエイプラテック
ホームページ



同社さかいる
掲載ページ



子どもたちの未来を 考えた3事業で 地域と人をつなぐ

多種多様なプラスチック部品の製造などを手掛ける株式会社サンエイプラテック。2019年に、保育士だった岡田全也社長の経験から地域に密着した保育園事業も立ち上げ、さらに最近では地元企業や大学をつないだ新たな事業も動き始めています。

**新会社で家業を承継
保育士の経験から保育園も開園**

「もともと家業を継ぐ気はなく、0歳児が初めて出会う先生という仕事がとても魅力的で、保育士という職業を選んだんです」と語る岡田全也社長。8年間、保育園や障がい者施設に勤務していました。が、家業を新しい形で引き継ぐと、2013年に株式会社サンエイプラテックを創業しました。

「昔からのお得意先の信頼も厚く、そのまま取引も受け継ぎました。驚いたのは、それまでの仕事の進め方が属人的で、例えば1年に1回しか注文のない仕事も従

株式会社サンエイプラテック
代表取締役 岡田 全也



トウモロコシのデンプンや乳酸菌などから作られる生分解性バイオマスプラスチック（ポリ乳酸）製品（写真右）と製造現場。

3 産業DX支援センター事業

～DXのエキスパートによるコンサルティング支援～

デジタル技術や自動化技術を活用し、既存事業の新たな価値創造や新規ビジネスの立ち上げ、経営にかかる各業務の効率化を考えている堺市内の事業者向けに、個別相談、コンサルティング支援を行い必要に応じてシステム導入までをサポートします。

利用料は
無料



対象者 デジタル化・自動化などにより営業力強化や業務効率化を考えている堺市内の中小企業者

お申込みは
こちらから→



■ 支援の流れ

申込方法

相談申込書をお送りください。その後、日程調整を行い、相談日を確定します（WEBも可）。

コンサルティング支援

エキスパートが現状把握・診断の上、課題解決できるシステムを企業と二人三脚で検討します。

ロードマップ作成

エキスパートがシステム導入までのロードマップを作成。企業規模に応じたシステムの仕様を複数提示します。

ベンダーマッチング

ロードマップをもとに、必要に応じ主に堺市内でシステム提供ができる企業をご紹介します（紹介無料）。

導入事例は
堺DX推進事例集を
ご確認ください！



4 デジタル経営診断ツール「堺DX診断」

「経営戦略」や「組織体制」など、デジタル化に関する6つのカテゴリ計30問の設問に回答することで手軽に自社のデジタル化の現状を自己判断できます。

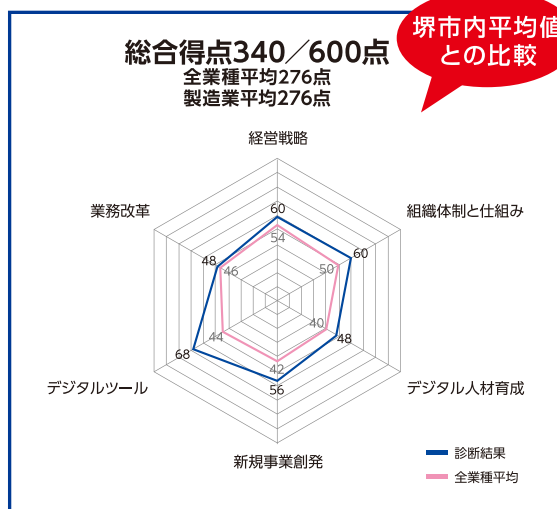
診断時間は約10分。何度でも無料で行えますので、デジタル化の進捗確認やDX推進の課題把握のため、「堺DX診断」をぜひご利用ください！

利用料は
無料

DX診断は
こちらから→



サイト運営時間 月～金曜日：8時～20時



経営戦略

合計点 60/100点
(全業種平均:54点 製造業平均:54点)

経営戦略や計画の達成度を定量的に評価することは重要です。指標や目標値を設定し、進捗管理を行う仕組みづくりを行いましょう。

目指す姿の明確化 ★★★

設問 自社が置かれている経営環境下で、将来の目指す姿(ビジョン)を描けていますか？

回答 経営環境を分析したうえで、中期的な(3年～5年先の)目指す姿(ビジョン)を描けている。

コメント 事業環境の変化やトレンドを先読みして、長期的(5年～10年)な目標で目指す姿(ビジョン)を描いてみましょう。定性面(顧客にどのような価値を提供したいか)や定量面(売上高・利益など)の両方から考えてみることも重要です。

経営戦略の策定 ★★★

設問 目指す姿の実現のために経営戦略を定めていますか？

※経営戦略とは、将来の目指す姿を達成するための方策のこと。

回答 自社の強み・弱み、外部環境(市場動向や顧客ニーズなど)を把握したうえで、戦略を策定している。

コメント 経営環境や顧客ニーズは日々変化していますので、定期的に経営戦略の改善・見直しを行いましょう。

次のアクション検討に向けたコメント

2 知的財産活用支援事業

当センターで知的財産関連図書の閲覧・資料の提供を行うとともに、INPIT知財総合支援窓口と連携して、知財相談を実施しています。

＜知財臨時支援窓口＞

堺市内の中小企業などの皆さまからの知財に関するご相談に対応するため、INPIT知財総合支援窓口から相談員を招いて「知財臨時支援窓口」を開設し、相談会を開催します。

相談方法は、対面（現地訪問、または堺市産業振興センター内）、WEB会議（Zoom）の3パターンからお選びいただけます。



対象者 堺市内の中小企業者など（開業届出済の個人も可）の方が対象

相談時間

1時間程度
事前にご予約願います。

会員申込みは
こちらから→



申込みは
こちらから→



大阪・関西万博2025出展企業との交流会を開催

堺商工会議所は11月6日、「大阪・関西万博2025 出展企業との交流会」を開催しました。会場には、万博出展企業や堺市内企業、支援機関、金融機関など、88社・団体121名が参加。万博で得た成果や今後の展開を共有しました。

第1部では、堺商工会議所の葛村和正会頭の挨拶、永藤英機堺市長の祝辞に続き、出展企業6社が成果発表を行いました。株式会社小中村超硬は殻燐炭を活用した地域循環システムを、東洋水産機械株式会社はAIによる未利用魚の自動選別機を紹介。株式会社古賀機械製作所は介護の負担を軽減する自動移乗装置を、株式会社小泉製作所はオープンファクトリーを通じた魅力発信を報告しました。また、太陽パーツ株式会社と株式会社ロッキンは、「さかい健康医療ものづくり研究会」での取組を紹介し、医工連携による新たな事業展開への意欲を語りました。

第2部では交流会が行われ、出展企業や支援機関の間で活発な意見交換が交わされました。万博で培った技術やネットワークを次の事業展開につなげる動きが期待されています。



令和7年度「堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」

一企業・地域経済発展など功績のある137名を表彰

10月9日（木）、堺市産業振興センターイベントホールにおいて、「令和7年度堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」が開催されました。「堺優良従業員表彰」は、堺市内の事業所等に勤務する従業員で、特に企業の発展に貢献があった方々をより広く顕彰し勤労意欲の向上に資すること、また「堺技能功労者表彰」は堺市内で功労顕著な技能者の社会的・経済的地位と技能水準の向上を図ることを目的として、堺市と堺商工会議所が共催で、毎年実施しているものです。

今年は137名が栄えある表彰を受けそれぞれ永藤堺市長・葛村堺商工会議所会頭連名の表彰楯が授与されました。各部門別表彰内訳は以下のとおりです。

《堺優良従業員表彰》135名

◆永年表彰 96名

対象：勤続10年以上、勤続20年以上、勤続30年以上、勤続40年以上

◆功労者表彰 35名

対象：勤続年数を問わず、特に功労があった従業員

◆産業ルネサンス表彰 4名

対象：新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、地域経済の再生・発展に貢献した従業員またはグループ

《堺技能功労者表彰》2名

対象：堺市域の産業振興及び業界全体の振興・発展に貢献している功労顕著な技能者
受賞者氏名等、詳細につきましては、堺市ホームページ下記アドレスをご覧ください。

<https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/kigyo/fukurikose/hyoshoshiki.html>



中小企業を
全力応援

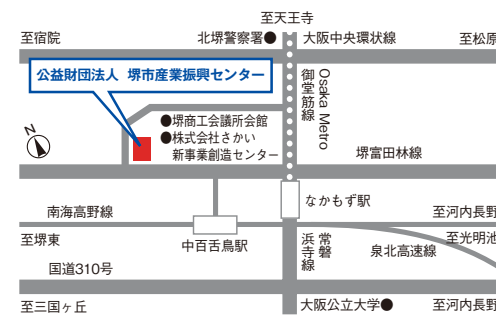


公益財団法人

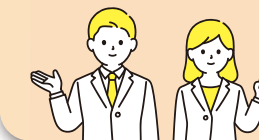
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、福利厚生事業、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曽根町183-5
TEL：072-255-3311(代) FAX：072-255-5200
<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場（無料）がござい
ますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



INFORMATION 堺市産業振興センターからのお知らせ

インキュベーション施設「S-Cube」

一創業や第二創業、新事業を応援するオフィス・ラボ

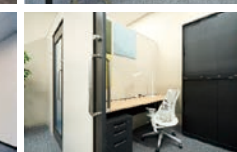
さかい新事業創造センター（S-Cube）は、オフィス、ラボを賃貸し、インキュベーション・マネージャー(経営の専門家)が事業計画から販路開拓、資金調達、マッチングまで幅広く伴走支援を行う施設です。

起業準備中の方、創業間もない方向けの個室ブース、オープン固定席も提供しています。

オフィス等の入居や見学、創業に関するご相談、創業支援の各種プログラムについて、お気軽に事務局までお問い合わせください。



S-Cube
さかい新事業創造センター



お問合せ先 S-Cube事務局
TEL：072-240-3775 Email：info@s-cube.biz
住所：〒591-8025 堺市北区長曽根町130番地42

イノベーション交流・共創拠点 「Community room cha-shitsu(茶室)」

一起業家や学生・女性が集い、交流・共創する場

S-Cube1階にある交流・共創拠点！

cha-shitsuは2周年を迎え、毎月約700人が利用しています。多様な交流会やビジネススキルアップのイベントを実施し、お互いに学び合い、新しいつながりが生まれる交流拠点です。

常駐しているコミュニティ・マネージャーを通じて起業家、事業家、子育て世代の女性、学生等、新たな出会いや共創が生まれ、地域で新しいイノベーションを創出しています。

起業に興味がある方、新たな出会いや共創を求めている方は是非お越しください。

■利用時間／月～金 9:00～18:00

■休業日／土、日、祝、年末年始

■場所/S-Cube1階 ■利用料/無料

Community room
cha-shitsu



堺市産業振興センター保証融資のご案内

堺市産業振興センターが保証する(有担保)融資は、センターならではのメリットを備えた、中小企業のみなさまに有利な融資制度です。

3つのメリット

その1 低金利・固定金利	その2 保証料が低額	その3 信用保証協会の保証枠とは別枠
年1.0%～年1.5%の固定金利で元金均等返済。	ほとんどの保証制度で年0.5%～年0.7%までの特別利率を設定。	保証協会の保証枠の余裕がなくても、新たに別枠で保証が可能。

また、1.5%以上の賃上げをする企業の場合、信用保証料が免除（堺市が負担）されるなどの特典があります。（※）

新年度を見据えた資金繰り、米国関税措置等への対応などの資金需要にご利用ください。

（※）「経営安定特別資金融資」を利用の場合に限る。

◎設備投資など経営強化をしたい方 ⇒「堺市中小企業活力強化資金融資」	貸付金利：年1.4% 融資金額：5千万円以内	融資期間：10年又は7年以内（資金使途により決定） 保 証 料：原則堺市が負担します
◎堺市内で創業したい方 ⇒「堺市創業者支援資金融資」	貸付金利：年1.3% 融資金額：2千万円以内	融資期間：7年又は5年以内（資金使途により決定） 保 証 料：原則堺市が負担します
◎経営の安定を図りたい方 ⇒「堺市経営安定特別資金融資」	貸付金利：年1.3% 融資金額：5千万円以内	融資期間：10年以内 保 証 料：一定の条件を満たす方（※）は原則堺市が負担します （※）1.5%以上の賃上げを行う方や事業承継資金として利用する方

当センターのホームページでは、制度の詳細や申込に必要な書類等のご利用案内を掲載しているほか、皆様からのご質問も受付しております。

また、融資相談窓口を設置し、専門の相談員が米国関税措置等をはじめとする、皆様の資金需要の相談に対応しています。お気軽にお問合せください。

お問合せ先 堺市産業振興センター 金融支援課 TEL：フリーダイヤル 0120-072-232 又は 072-255-8484

この企業にこの人あり！

株式会社古賀機械製作所
代表者名／代表取締役 古賀 弘司
本社／堺市美原区今井88-1
TEL／072-289-7207

- 設立／1985年創業 2000年設立
- 資本金／1,000万円
- 従業員数／17名
- 事業内容／自動化装置、専用機、加工機の開発・製造



株式会社古賀機械製作所
ホームページ



同社さかした
掲載ページ



大阪・関西万博に、介助する側にもされる側にも負担の少ない自動移乗装置「HAKO BED」を出展。



各種自動化装置、ロボットを活用したシステムまで高品質な機械を製作し、現場の「困った」を解決。



同社では、自動タップ加工装置「カンタップ」などのオリジナル製品も販売。



作業効率や使い勝手を踏まえた製作により、既製品にはない使い心地と品質を実現。

株式会社古賀機械製作所の人材戦略

営業や販売に注力するため 広告などの異業界からも採用を

人材育成としては、ロボット関連や電気設備など、社員のスキルアップのための資格取得やセミナーの受講には積極的に投資しています。

また採用面では、営業や販売に注力するために、広告やデザイン、WEBなど異業界からの採用も検討したいと思っています。

分たちで新しいお客様との出会いを広げていくことが重要」と語られています。その販促や営業面でのリーダー的な存在として期待されています。

以前は舞台音響の仕事に就いていたそうですが、2008年に入社してからコンピュータを使つての設計や製図に携わる一方、最近では自社ホームページや展示会での表現方法を考えるなど、〝売る〟ための業務に関わることが増えました。なかでも、大阪・関西万博の出展は大きな経験だったと話しています。

「業界向けの展示会と異なり、製造業のことをよく知らない来場者が多い中で、ものづくりや当社のことを広く紹介することができました。女性にも身近なHAKO BEDは、今後、ものづくり企業においても女性が活躍できる場があることを伝える入口

これまで〝作る〟ことばかりに目を向け、〝売る〟ことを二の次にしていました。が、これからは自

「育児や介護が両立できる環境を整備 女性の力を活かすものづくり企業へ」

株式会社古賀機械製作所
常務 藤井 智恵美

万博の出展で医療・福祉業界から
注目される「HAKO BED」

プレス加工機やタップ加工機をはじめ、ロボットシステムを活用した自動化装置の開発・製造を得意とする株式会社古賀機械製作所。構想から設計、加工、組立、制御、据付、メンテナンスまでの全工程を一貫体制で担っており、多種多様な産業分野のものづくりに貢献しています。

そうしたなか、同社が医療・福祉関連で初めて手掛けた「HAKO BED」(はこベッド)が、大阪・関西万博で多くの人に注目されました。リモコン操作一つで、被介護者や患者さんが寝ているベッドから移し替えることができる装置で、介護者の身体的負担を軽減できることから、人手不足に悩む福祉業界などでの活用が期待されています。

「万博では、1週間の出展期間中に約1500人の方に試乗いただきました。なかには体重が100kg近い方もいましたが全く問題なく、思いがけず耐久テストもできたようなものでした(笑)」と古賀弘司社長。今後は、自社ブランド製品としての発売を目指し、機能の向上とともに、軽量化やコンパクト化、さらには導入しやすい価格設定に向けて、製造コストの削減を図っていきます。

「作るだけでなく、〝売る〟ことにも注力
販促や営業面で推進役を担って」

大阪・関西万博への「HAKO BED」の出展に際し、PRや展示方法を考えるなど中心的な役割を担ったのは、藤井智恵美常務です。

古賀社長は「ものづくり企業として、こ

になるように思えて人材採用面でも期待しています。また、会場で多くの介護業界の関係者から、さまざまなご意見や期待の声を聞いたことも良かったです」。

次代の経営を担う一員として
女性の視点から働きやすさを目指す

以前から女性の活用に注力してきた同社では、4人の子どもの育児経験を持つ藤井常務が中心となり、女性がさらに活躍しやすい環境づくりを進めています。

「男女を問わず、また育児だけでなく介護も対象に、家庭と仕事が両立できるよう時短勤務や在宅勤務などの制度を整備しました」。

古賀社長が立ち上げた同社の次代を担うのは、藤井常務ら3兄弟です。「2012年に現在地へ本社工場を移転した時には、あまりにも工場が大きくなったことに少し不安を抱きましたが、器に合わせるように受注量も増え、会社も成長したことに感謝を受けました」と語る藤井常務。女性ならではの視点が、同社のめざす新たなものづくりや経営に活かされることでしょう。



株式会社古賀機械製作所
代表取締役 古賀 弘司さん

独自の発想力と開発力で生み出す パーソナルケア用品



世界で初めて光触媒（酸化タングステン）を配合した歯磨き粉「ホワイトフラッシュ」や、炭酸泡による血流促進作用を利用した医薬部外品の美容液「美白WF美容液」ほか、アーモンドに含まれるAHAである角質ケア成分のマンデル酸を国内で唯一、18%も高配合した導入美容液「ホワイトフラッシュクリアセラム」など、ビューティードア株式会社が企画開発した製品は、どれも機能性の高いものばかりです。

特に「ホワイトフラッシュ」は、昨今の歯のセルフホワイトニングの流行から人気です。堺市産業振興センターのコーディネーターを務めていた光触媒の専門家のアドバイスで、人体に無害な光触媒、「酸化タングステン」と出会ったことが同製品の実現につながりました。「創業の地である堺の人にも応援していただきたい」と堺の地名も製品のパッケージやラベルにデザインしています。

アルカリイオン水を弱酸性に変える肌本来の力を呼び戻す“スパルタ保湿”の美容液も、新発売される予定です。全従業員の物心両面の幸せの追求とサイエンスで美と健康に貢献し、創造する製品で世界を笑顔に。と楽しみな企業です。



ビューティードア株式会社

代表者名／代表取締役社長 藤田 百合子
 本社／堺市堺区北庄町2-2-22
 BDアビル

TEL／072-256-4596

- 設立／2006年設立
- 資本金／1,000万円
- 従業員数／10名
- 事業内容／化粧品・医薬部外品、健康食品の開発・製造・販売

2025年12月末～2026年3月末
 頃まで堺市産業振興センター1F
 「ざかいモノてらす」で展示予定



ビューティードア株式会社
ホームページ



同社さかしる
掲載ページ

